

小児・AYA世代のがん患者に対する 妊孕性温存の意義

申込
不要

入場
無料

●開会挨拶

北海道大学病院 腫瘍センター長 篠原 信雄

●司 会

北海道大学病院 小児科長 真部 淳

●講 演

講演1

「小児がん経験者の思春期について」

北海道大学病院 小児科 講師 中村 明枝

講演2

「精巣がん患者における妊孕性温存の意義」

北海道大学病院 泌尿器科 講師 大澤 崇宏

講演3

「婦人科医の立場からみた妊孕性温存療法」

札幌医科大学附属病院 婦人科 准教授 馬場 剛

●北海道から「助成事業」のお知らせ

日時

令和4年

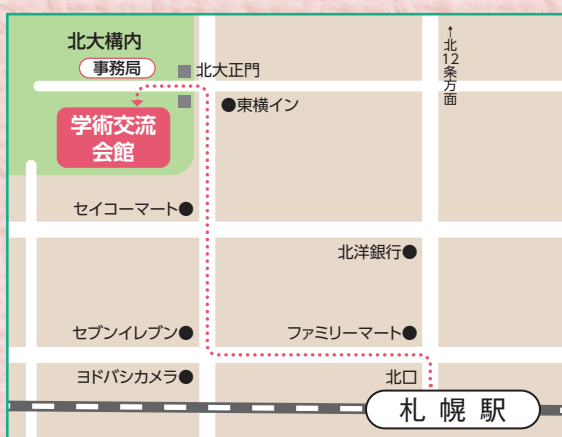
11月13日 (日)

14:00-15:40 (開場13:00)

会場

北海道大学 学術交流会館

2階講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)



お問い合わせ

北海道大学病院 医療支援課 地域医療連携係

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目

TEL : 011-706-5629 / FAX : 011-706-5630

Eメール : itiiki@jimu.hokudai.ac.jp

※ 事前申込みは不要ですので、直接会場までお越しください。
※ 感染症対策として入場制限をする場合がございます。
※ マスクの着用と感染対策へのご協力をお願いいたします。

主 催：北海道大学病院 腫瘍センター

共 催：北海道保健福祉部健康安全局地域保健課